

地質情報展2004ちば 体験コーナー -石を割ってみよう-

工藤 崇¹⁾・西岡 芳晴²⁾・坂野 靖行³⁾

はじめに

2004年9月18日から20日まで、千葉県立中央博物館で開催された「地質情報展2004ちば」で、体験コーナー「石を割ってみよう」を開設しました。このコーナーは、一般の人達に実際に岩石をハンマーで割ってもらうという企画で、来場者の皆様からは毎年好評をいただいております。地質情報展の開始当初からの体験企画であり、2002年を除いて毎年開催されてきました。今回はこのコーナーの前準備から当日の様子と、石割り人気ランキングの集計結果についてご報告します。

前準備

今回は合計22種類の岩石を用意しました(第1表)。昨年が14種類だったので、大幅に増えまし

第1表 展示した岩石一覧と人気ランキング。

分類	岩石名	産地	配付枚数	順位
堆積岩	砂岩	岐阜県犬山市	63	
	チャート	岐阜県犬山市	114	5
	石灰岩	滋賀県坂田郡伊吹町	105	6
	珪藻土	石川県珠洲市	93	7
火山岩	玄武岩(火山弾)	静岡県富士宮市	30	
	安山岩(鉄平石)	福島県耶麻郡北塩原村	62	
	安山岩溶岩	秋田県鹿角市中滝	38	
	デイサイト軽石	青森県十和田湖町字榎部	141	2
	溶結凝灰岩	青森県十和田湖町百目木	73	
	房州石	千葉県富津市金谷	80	10
	黒曜岩	北海道紋別郡白滝村	320	1
	玄武岩	静岡県富士宮市富士山南斜面	78	
深成岩	黒雲母花崗岩	茨城県笠間市稲田	77	
	ざくろ石花崗岩	長野県天龍村和知野川	90	9
変成岩	蛇紋岩	長野県上伊那郡長谷村	131	4
	片麻岩	富山県中新川郡上市町	14	
	結晶片岩1	長野県上伊那郡長谷村鷹岩	39	
	結晶片岩2	静岡県磐田郡佐久間町地八	92	8
	堆積岩ゼノリス	茨城県笠間市稲田	37	
	鈹石	群馬県桐生市菱町黒川鈹山・山菱鈹山	135	3
鈹石	黒鈹	東北地方(詳細不明)	73	
	黄鈹	東北地方(詳細不明)	60	
	合計		1,945	

- 1) 産総研 地質情報研究部門
- 2) 産総研 地質調査情報センター
- 3) 産総研 地質標本館

た。岩石は堆積岩、火山岩、深成岩、変成岩、鈹石を一通りそろえました。黒曜岩は前回の地質情報展では大人気だったので、それを考慮して今回は多めに用意しました。千葉県産の石としては、かつて石材として利用されていた「房州石」を用意しました。また、今回新たに各岩石について解説表示板を制作し、レイアウトに若干の工夫をしたほか、前回要望があった岩石一覧表と採取地点の地図を作成し、希望者には配付するようにしました。

当日の様子

それでは当日の様子をご紹介します。お客さんにはまず、陳列された22種類の岩石から好きな石を選んでもらいます(写真1)。お客さんの大多数は小学生以下の子供達とその親御さんです。好きな石を選んだら、次に怪我をしないように軍手とゴーグルをしてもらいます。そして、木の杵とビニールでできた「石割り場」の中で実際に石を割ってもらいます(写真2)。上手く割れないときにはスタッフ



写真1 割る石を選ぶ参加者と解説するスタッフ。

キーワード：地質情報展2004ちば、石割り、岩石、鈹石、体験コーナー

がサポートします。石が割れたら、岩石片を1つ選んでもらい、ラベルと一緒にビニール袋に入れて記念として持ち帰っていただきます。ラベルには岩石名と産地のほかに、簡単な解説が書いてあります。

このように石を割って持ち帰っていただくだけの作業ですが、参加者は意外なほどに夢中になります。石を割るという作業は、一般の方々にとっては非日常的な行為であり、大いに新鮮味を感じるのだと思います。我々地質屋としては、楽しそうに石を割る子供達を見ているだけで微笑ましくなります。よほど楽しかったのか、連日登場しては片っ端から石を割っていくお子様達もいました。割った石をもらえることが嬉しいらしく、全種類集めようとする子供もおりました。中には、とことん堆積岩を割り続けて化石を探す子供や、黒曜石を割って「カッコイイ」石器を作りたい! という中学生、ひたすら石を割ることに執念を燃やす子供など、楽しみ方は人それぞれです。バケツを借りてきて軽石を水に浮かせると、子供も大人も目を輝かせます。石の成因に興味を持たれる大人の方もおり、スタッフはそれに応じて解説を行ないました。子供そっちのけで、石割りにハマってしまうお母さんもおられました。おかげさまで大盛況になり、開催3日目はスタッフが休む暇が無いほどでした。

一番人気の石は？

後日、最初に用意したラベルの数と残ったラベルの数から、各岩石の配付した個数を集計してみました(第1表)。配付した石の合計は1,945個となり、このコーナーが始まって以来の最高記録に達しました。片麻岩などは在庫が少なく、すぐになくなってしまったので、「持ち帰っていただいた個数の多い石」=「人気のある石」とは必ずしも言えません。しかし、大局的には人気を反映した結果となったと思います。一番人気は黒曜岩で、他の石を抑えてダントツ第1位です。見た目にも光沢があって綺麗ですし、古代人が石器に利用したということで教科書などにも掲載されており、親しみがあったと予想されます。相当数を用意したのですが、全て売り切れてしまいました。第2位はデイサイト軽石で、実際に水に浮くことを会場でやってみせたとたん、人気が急上昇したようです。園芸用に持ち帰



写真2 石割りに挑戦する参加者。

る方もおられました。第3位はマンガン鉱石で、見た目の美しさに魅かれる方が多かったようです。子供達にとっては硬くてなかなか割れない石で、見ているスタッフはハラハラすることもありました。意外な石の人気があったり、なかったり。こういう集計結果を見るのも、なかなか興味深いのではないのでしょうか？

おわりに

今回も多くの参加者に楽しんでいただき、たいへん盛況であったと思います。今回は「石割り場」を1つ増設して4ヶ所用意したのですが、それでも対応しきれないほどでした。私(工藤)は昨年度からこの企画に加わりましたが、意外なほど参加者の方に喜んでいただき、とても嬉しく感じます。このコーナーは、難しいことは抜きにして、石を割るという作業を体で体験し、楽しんでもらうことに意義があります。地学離れが進む子供達に、少しでも地質や岩石に興味を持ってもらうきっかけになればいいな、と願ってやみません。今後もできるかぎり魅力ある体験コーナーとして、スタッフ一同努力していきたいと考えています。

最後に、石割りコーナーにご協力いただいた奥山康子氏、千葉県立中央博物館友会の会の方々、準備・運営に関わった全ての方にお礼申し上げます。

KUDO Takashi, NISHIOKA Yoshiharu and BANNO Yasuyuki (2005): "Let's Hammer Rocks": the special sections in the Geological Exhibition in Chiba 2004.

<受付: 2004年10月29日>